

留学先：The University of Findlay

氏名： 加藤 裕樹

【はじめに】

2月も終わり、厳しい寒さの中に、春の兆しが見えてきました。もうこの春学期も半分が過ぎ、私の留学生活も残すところあと2ヶ月となってしまいました。この2月の報告書では、先月の報告書で紹介した CLUBHOUSE について詳しく報告していきたいと思います。それに加えて、地域の小学校で行っているボランティア活動についても紹介していきます。

【CLUBHOUSE】

CLUBHOUSE とは、先月も紹介したように、リーディング（アメリカでのいわゆる国語）につまずいているアメリカ人の小学生を大学に呼んで、週に1回90分のリーディングチューターをするという授業です。毎週指導案を書いて、実際に教えています。1月に1回目の顔合わせがあって、2月には4回の授業を行いました。

1回目の授業では、内容理解のための授業を行いました。私が絵本を読んで、子どもたちに、その内容にそった絵を描かせるという授業でした。

日本人の私がアメリカ人の小学生に教えるのは本当に大変です。まず、絵本はもちろんちゃんとした英語で読まなければなりません。発音が正しいだけではなく、感情を込めてよんだり、スムーズによんだりという部分にも注意を払って読む必要がありました。なので、授業が始まる前に、何回も繰り返して絵本を読む練習をしました。アメリカ人の友達に聞いてもらって、発音や読み方を直してもらいました。

さらに、相手は小学生ですから、集中力が途切れたり、行儀が悪くなったりします。それに対し



て、英語で注意をして、授業に集中させるのは、アメリカで教育を受けた経験が乏しい私には大変です。他の先生の注意の仕方や CLUBHOUSE を取り仕切る教授の言っていることを聞きながら、どのように授業を進めていくかを学んでいます。

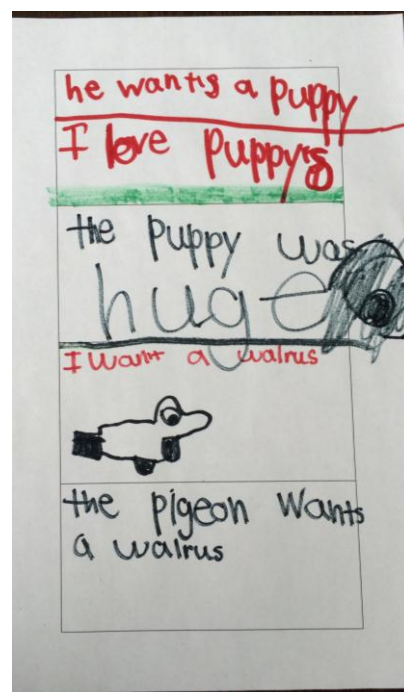
あと5回の授業が残っています。ネイティブの子どもたちに英語を教えるという経験はなかなかできるものではないので、1回1回いろいろなことを学びながら、楽しんで教えていきたいと思います。



【小学校でのボランティア】

前の学期も、毎週小学校を訪問して幼稚園生と1年生の手助けをするというボランティアしていましたが、今学期は、より本格的で実践的なボランティアをさせていただけることになりました。アメリカの時間には Choice Time といって、自分の好きな学習を個人でしたり、小さいグループで活動をしたりする時間があります。その時間に20分のレッスンを3回、3人から4人の小さいグループに向けて行っています。今、この小学校では、7人の小学1年生、3人の幼稚園生を見えています。基本的には、私が絵本を読んで、子どもたちがその本の内容を理解できる手助けになるようなレッスンをしています。

例えば子どもたちは、絵本の内容を時系列に沿って、絵や文で表したりします。これによって、子どもたちが長い文章を理解できるようになっていきます。



【まとめ】

今月の報告書は、私が行っている教育的活動の報告になってしまいましたが、これが私の生活のほとんどを占めています。火曜日は小学校で20分×3のミニレッスン、木曜日は大学で90分のリーディングチューター、さらに、今回の報告書には載せませんでした。月曜日と水曜日には、60分ずつ、小学生に日本語を教えています。毎日、現地の子どもたちと関わるという、私にとってはとても貴重な経験をさせていただいています。子どもたちと一緒に、残りの留学生生活をさらに充実させていきたいです。ではまた来月の報告書で！